

だれもが楽しめるインクルーシブ (inclusive) 公園

埼玉県立大学 保健医療福祉学部
作業療法学科 田坂 翔太

1 はじめに

2014年1月に、日本は障害者の人権や尊厳の尊重を促進するための措置等を規定した障害者権利条約を批准しました。この条約に基づき、各地域で年齢、性別、障害の有無などに左右されない誰もが生き生きと暮らしやすい社会を目指しています。特に **SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)** 採択以降、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」という理念のもと、持続可能でよりよい社会の実現が世界中の人々が取り組むべき目標となっています。しかし、作業療法の対象となる子どもの中には身体の不自由さによって、近所の公園で兄弟や友だちと遊ぶ機会は少ないことが現実です。養育者からは「子ども用車いすは、少しの段差や砂利・雑草・土の道を走行することが難しい」、「車いすでは砂場で遊ぶことが難しい」、「子どもに合った遊び場所を見つけることに苦労している」、「屋内で遊ぶ場所を探すようにしている」、「滑り台は狭くて一緒に滑ることができない」などの声が寄せられています¹⁾。誰もが生き生きと暮らしやすい社会の実現に向けて、障害を理由に公園であそぶ機会が制限されるべきではありません。そこで今回は、**障害の有無に関わらず、誰でも楽しめるインクルーシブ公園 (インクルーシブ遊具)** についてご紹介します。

2 インクルーシブ公園 (インクルーシブ遊具) とは

インクルーシブ (inclusive) とは、日本語で「包括的」という意味です。つまり、インクルーシブとは、さまざまな違いを持つ人々をすべて受け入れ、排除せずに包み込むことを意味します。インクルーシブ社会とは、障害の有無や性別、性的指向、人種、年齢、宗教、経済状況、学歴、出身地など、さまざまな違いを持つ人々が、平等に権利や機会を享受し、互いに尊重し合いながら共に生きることができる社会のことです。同様にインクルーシブ教育とは、さまざまな違いを持つ子どもたちが、同じ学校に通い、共に学ぶ教育のことです。

インクルーシブ公園も同じように、**障害の有無や年齢、性別、国籍などを問わず、すべての人が楽しく遊べる公園**のことです。インクルーシブ公園内にある遊具のことを指して、インクルーシブ遊具とも呼ばれています。**具体的なインクルーシブ遊具として、「座面が広く、背もたれや手すりがある誰でも乗れるブランコ」、「触ると音や光が出て、聞いて、見て楽しめる遊具」**などがあります。

従来の公園は、車いすやベビーカーに乗った人や、視覚や聴覚に障がいのある人など、一部の人の人にとって使いづらい場面がありましたが、そのような人々も安全に遊ぶことができるように、さまざまな工夫がされている公園がインクルーシブ公園です。

東京都は、インクルーシブ公園を拡充していくことを目的に「だれもが遊べる児童遊具広場整備のガイドライン」²⁾を作成し、障がいの有無に関わらず、子ども達が安全に遊ぶことができる遊び場の整備に取り組んでいます。また、「誰もが遊べる遊具広場 専用ホームページ」³⁾を公開し、都内2箇所のインクルーシブ公園を紹介しています。

3 としまキッズパークについて⁴⁾

としまキッズパークは「イケ・サンパーク（としまみどりの防災公園）」と池袋保健所に隣接する敷地に、豊島区を走行中のIKEBUSを監修した世界的な工業デザイナーである水戸岡鋭治氏のデザインにより整備された、インクルーシブ公園です。車いすの子どもも座って遊べる砂場、誰でも横転の心配のない安全なブランコなど、障害の有無に関わらず、一緒に遊ぶことができ、誰でも安心して利用できる公園です。「いろいろな子供たちが一緒に遊べる公園」・「子どもたちが自分で遊びを見つけ出す公園」・「子どもたちの個性を理解し尊重しあう公園」を目標に、パーク内での色々な発見や体験を通じ、子どもたちの想像力・創造力を育む場所となっています。

【としまキッズパークの概要】⁵⁾⁶⁾

名 称：としまキッズパーク

所 在 地：豊島区東池袋4丁目42番

運営時間：午前10時～午後4時

利用料金：無料

利用方法：ホームページより予約

対 象：小学校低学年までの小さな子どもたちと障害児向けの公園

設 備：ミニS L（IKEDEN約65m/一周）、展望ブリッジ、三輪車広場、ミニ図書館 他



としまキッズパーク
ホームページ⁴⁾



としまキッズパーク
開園時の資料⁵⁾



としまキッズパーク
予約サイト⁶⁾

4 子ども用車椅子を使用した「としまキッズパーク」の利用の実際

【手あらい場】



円形なので、どの方向からも手が届きやすいです。車椅子の足部分が入るように、空間が確保されています。

【イケこどもトイレ】



手洗い台は低く設定されています。ユニバーサルデザインを採用し、利用者全員が使用します。

【たいこ橋】



ベビーカーや車椅子でも安全に渡れます。公園内は段差がなく、誰もが快適に過ごせるよう設計されています。

【さんりんしゃひろば】



三輪車でもスイスイ走れるほど、平坦です。車椅子に乗りたいたと言っていたお子さんもいました。

【かだん】



地面から少し高く作られているため、三輪車、ベビーカー、車椅子に乗ったままでも楽しむことができます。

【すなば】



車椅子でも近づきやすいように、下部に隙間があります。立って遊ぶ子どもと一緒に楽しむことができます。

【おやこブランコ 1】



後方と左右に枠が付いているので、小さなお子さんから安心して楽しめます。

【おやこブランコ 2】



大人も一緒に二人でブランコに乗ることができます。

【おやこすべり台】



すべり台は幅広で、大人も一緒に滑れるように設計されています。

【木のプール】



靴を脱いで、座る、寝転がる、思いのスタイルで遊べます。

【キッズハウス（インクルーシブなえほんコーナー）】



点字の絵本や触って遊べる迷路で、視覚障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に楽しむことができます。

5 埼玉県立大学周辺のインクルーシブ公園

今回は、東京都豊島区にあるインクルーシブ公園をご紹介します。全国各地でインクルーシブ公園やインクルーシブ遊具の設置が議論され、埼玉県内でもインクルーシブ公園が整備されています。

<三郷市 なかよし ひろば（インクルーシブな広場）>⁷⁾

住所：埼玉県三郷市インター南二丁目 5-1 インター南中央公園内の広場

越谷市と相互協力に関する包括協定を締結している跡見学園女子大学や市内障害児施設などの意見を取り入れ、整備されました。広いデッキのあるすべり台、皿型ブランコ、砂場にはテーブルがあり、ベビーカーや車椅子でも楽しむことができます。

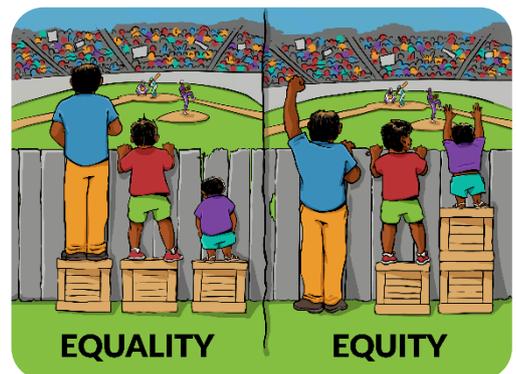
<越谷市 西大袋第 1 号公園（仮称）>⁸⁾

住所：埼玉県越谷市大竹 615-14

埼玉県立大学から約 1km 離れた大袋地区で、インクルーシブ公園の整備が進められています。インクルーシブ遊具については、2024 年度の施工を予定しています。どんな公園になるのか、今から楽しみです。

6 おわりに

1 人 1 人に合わせた配慮や支援は、時に「あの子だけ特別扱い」といった声があがります。このイラスト⁹⁾は、野球観戦の際に、身長異なる 3 人全員に「平等 (Equality)」に同じ高さの台を用意しているイラストと、必要な人に必要な分の台を用意し、「公平 (equity)」に野球観戦を楽しんでいるイラストです。3 人全員が野球観戦を楽しむためには、「平等 (Equality)」ではなく、



「公平 (equity)」に台を用意することが必要です。すべての人が平等に機会を得られる社会を実現するためには、「公平 (equity)」という考え方が重要です。

インクルーシブ公園ですべての人が楽しむためには、イラストのように、「平等 (Equality)」ではなく、「公平 (equity)」を重視する必要があります。公園はすべての人が一緒に楽しむ場所です。一人ひとりのもともとの違いに合わせて「公平 (equity)」に楽しめることが重要です。公園をより多くの人が利用できるよう、社会全体で取り組んでいきましょう。

7 参考・引用リスト

- 1) みーんなの公園プロジェクト
<https://www.minnanokoen.net> (2023年12月8日閲覧)
- 2) だれもが遊べる児童遊具広場 整備のガイドライン (東京都建設局)
https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/park/tokyo_kouen/kouen0086.html (2023年12月8日閲覧)
- 3) 誰もが遊べる遊具広場 専用ホームページ
<https://www.tokyo-park.or.jp/special/udplayground> (2023年12月8日閲覧)
- 4) 豊島区 ホームページ としまキッズパーク
<https://www.city.toshima.lg.jp/454/shisetsu/koen/documents/2009141032.html> (2023年12月8日閲覧)
- 5) 豊島区 ホームページ 資料アーカイブ_基礎資料(資料グループ)
<https://adeac.jp/toshima-history/viewer/mp400157/pressR020915G> (2023年12月8日閲覧)
- 6) としまキッズパーク予約サイト
<https://coubic.com/toshima-kidspark> (2023年12月8日閲覧)
- 7) 三郷市 ホームページ みどり公園課
https://www.city.misato.lg.jp/soshiki/machizukuri_suishin/midorikoen/1/8258.html (2023年12月8日閲覧)
- 8) こしがや市議会だより 令和5年(2023年)5月1日
<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/gikai/dayori/2023/files/219.pdf> (2023年12月8日閲覧)
- 9) Illustrating Equality VS Equity January 13, 2016 by IISC (Interaction Institute for Social Change | Artist: Angus Maguire.)
<https://interactioninstitute.org/illustrating-equality-vs-equity> (2023年12月8日閲覧)